

部会名 (地域)	東京部会 (東京都・その他道府県・海外)
部会長名	田中 一夫 (高 20)
会員数	37 人 (令和 3 年 1 月 31 日現在)
連絡・報告等 令和 2~3 年	【令和 2 年】 1 月 1 日 松韻東京通信 (137 号) 発行 1 月 11 日 東京部会新年会開催 (中央区銀座 2-3-6 梅の花銀座並木通店) 2 月 15 日 第 142 回懇話会開催 (丸の内国際ビル 8 階日本倶楽部第 4 会議室) 第 143 回 懇話会 (丸の内国際ビル開催) 新型コロナウイルス感染症感染対策に伴い延期 第 12 回 東京散歩 (新国立競技場見学会) 同理由にて延期 5 月 1 日 松韻東京通信 (138 号) 発行 6 月 6 日 第 29 回東京部会総会 (書面開催) 1 号議案 令和元年度事業報告、決算報告 / 2 号議案 令和 2 年度事業計画、収支予算案 / 3 号議案 役員改選案 以上 3 議案承認可決 9 月 16 日 松韻東京通信 (139 号) 発行 11 月 28 日 第 143 回懇話会 (書面開催) 【令和 3 年】 1 月 1 日松韻東京通信 (140 号) 発行 ・松高アーカイブ「その時わたしは」企画スタート (右記事) 1 月 東京部会新年会新型コロナウイルス感染症感染対策に伴い中止



令和2年新年会(中央区銀座)

松韻東京通信(140号)松高アーカイブ「その時わたしは」部分抜粋



上:松高(旧23・高2)平成18年7月28日同窓会資料より
下:ディーゼル機器松山工場 管理事務棟

ディーゼル機器空襲
米軍機ロケット弾で同級生二名が負傷
鈴木美穂(高2)

東松山市のまわりには、坂戸飛行場、高萩飛行場、唐子飛行場、熊谷飛行場が点在し、またディーゼル機器(現在のボッシー)などの大きな工場や地下軍事工場があった。このため、本土空襲が激しくなつた。一九四四年末以降、やがて爆撃機が頻りに南から北に向けて上空はるか上を時折ビカッ、ビカッと銀色の翼を光らせながら通過していた。

1



七五年前の松中一年生
福岡 勉(高3)



ロッキードP51戦闘機(ムスタング)
時二つ約四〇機を以て伊豆半島より侵入、八王子立川帝都方面に行動、銃撃を加えた。(原文のまま)

この激動期に青春時代を過ごした私の特に印象に残っている七五年前の戦争末期に焦点を当て、当時の記憶をたどってみることにしたい。

まず昭和二十二年(一九四五年)三月二〇日に入学試験が行われたのだが、当時筆記試験はなく、口頭試験だけのいわば人物審査であった。試験官の先生方の待機する各教室を巡回して、例えば「日本語の特色は？」とか「三角形の内角の和は？」

より松山高(新)制になったことから私たちは都合六年間、同じ学校に在籍したことになる。

途中学制改革により松山高(新)末期に松山中学(旧制)に入学し、